

プレスリリース マスコミ関係者 各位



四日市市の指定無形文化財「萬古焼」の器に伊勢茶セルフロウリュ おふろ café 湯守座に「茶室」をテーマにした瞑想サウナを新設



株式会社旅する温泉道場（三重県四日市市、代表取締役社長 宮本昌樹）が運営する四日市温泉 おふろ café 湯守座（三重県四日市市）は、2021年1月23日（土）に男性浴室にサウナを新設しました。新しいサウナは「茶室」をテーマに、四日市市の指定無形文化財である萬古焼の手水鉢を設置、地元水沢産の伊勢茶を使った伊勢茶セルフロウリュを体験いただけます。

ロウリュとは熱したサウナストーンに水をかけることで蒸気を発生させサウナ内の湿度と体感温度をあげることが出来ます。セルフロウリュでは自ら柄杓を用いて、好きなタイミングでロウリュを楽しむことができます。サウナヒーターには「IKI サウナ」を採用。三重県でのIKI サウナの導入は、おふろ café 湯守座が初となります。

おふろ café 湯守座は「現代の芝居小屋」をコンセプトにした長期滞在型の温浴施設です。館内の劇場では大衆演劇を月替わりで上演し、日本の国技である土俵の品格を取り入れた「土俵風呂」、伊賀忍者の末裔による忍者ショーの開催など、日本文化の発信につとめています。今回新設のサウナを通じて、萬古焼や伊勢茶など地元・三重県の名産品の魅力を発信したいと考えています。

四日市温泉 おふろ café 湯守座
三重県四日市市生桑町 311
<https://ofurocafe-yumoriza.com/>

■本リリースに関するお問い合わせ先■

株式会社旅する温泉道場 支配人 神保正樹 059-332-2611 jimbo@onsendojo.com